

# 心臓手術大画面に

会場に設けた画面に実際の手術風景を映し、医師ら参加者が手術の仕方などを討論する「コンプレックス・コロナリー・インターベンション・カンファレンス（CCIC）」が、豊橋市藤沢町のホテル日航豊橋で開かれていた。六日まで。

日本や世界約三十カ国の循環器内科医や心臓血管外科医などで行われるCCIC事務局の主催。最先端の心臓外科手術などの紹介をし、医師の技術向上を目的に国内などで年一回開いている。

豊橋市の循環器系専門病院「豊橋ハートセンター」の鈴木孝彦院長が、同事務局の代表世話人を務めていることから、今年は豊橋で四日から開催。五日は医師や医療機器メーカーの関係者ら約三千人が参加した。

患者の同意を得て、実際に狭心症などの手術をしている同ハートセンターの心臓カテーテル室や心臓外科手術室を、会場の二つの大型モニターに映し出した。

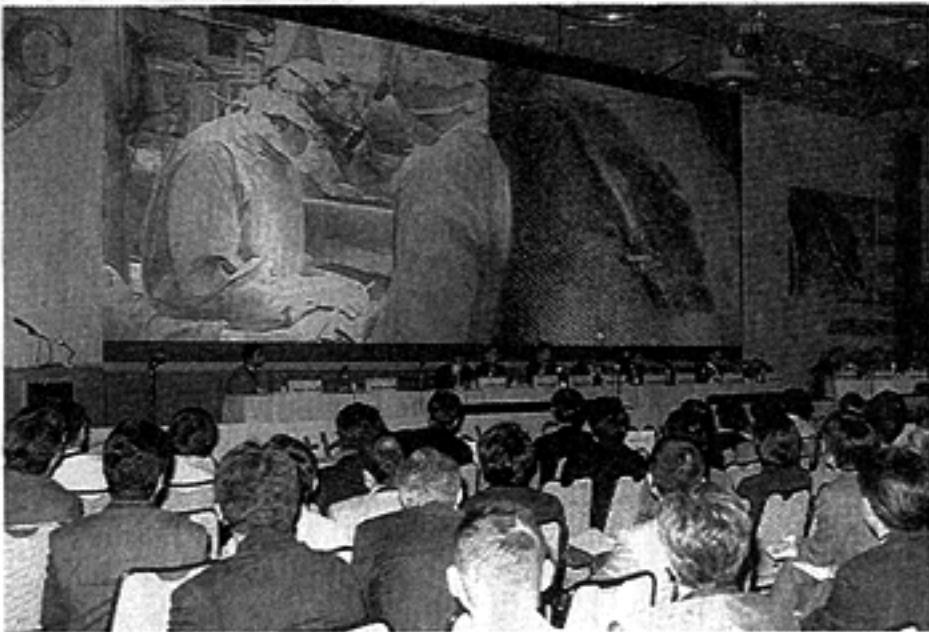
手術は、国内で指折りの医師が担当。狭心症などの手術では通常は患者の心臓をいっ

## 最先端の技術 医師ら討論

液を送りながら行つたが、今回は心臓を止めずに執刀する技術などを見せた。

六日は、米国ワシントンの会場では手術室と会話もでき、同事務局の中心メンバー、循環器内科の手術風景をの医師約十人が、手術法などについて手術室の医師と討論する。

### 豊橋で「CCIC会議」



会場に映し出された手術風景を見る参加者。豊橋市のホテル日航豊橋で